

瀧澤俊平 桐原英純 佐藤岩次郎 平藝妓屋組合 江口清 佐藤三平 阿部唯次郎 秋山藏之助

小田炭礦鑛業所 入山探炭株式會社 湯本鑛業所

磐城炭礦株式會社 古川鑛業株式會社

不動澤炭礦 杉山炭礦 礦務所

# 磐城立憲新報

發行所 磐城立憲新報社 社址 磐城郡石城町七番地

## 名譽校長に本多忠綱先生を推薦したる 平陽女學校最近の優勢

### 新學期より地方女子の 綜合教育へ！



磐城地方の私立女學校と千餘人に達し猶其の間私立を名譽校長に推薦して、女... 先生は實に本郡出身の教育... 先生は實に本郡出身の教育... 先生は實に本郡出身の教育...

子女史の献身的獨力に依つ井ミヨ子女史及び教頭酒井村陸軍豫備少佐齊藤昌孝、... 先生は實に本郡出身の教育... 先生は實に本郡出身の教育...

師範學校長 大正八年十二月北海... 先生は如何に教育法及... 先生は如何に教育法及... 先生は如何に教育法及...

### 平陽女學校創立者 酒井ミヨ子女史銅像 建設の必然と其の趣意

常磐線地方最大の私立女學界に於ける女子教育は益々... 先生は實に本郡出身の教育... 先生は實に本郡出身の教育...

### 銅像建設規定

一、本會の目的は趣意書の通り之れを貫徹するものとする

### 銅像建設豫算書

一、金壹千圓也  
二、等身大座像鑄造費 金五百圓也  
三、除帶式費 金壹百圓也  
四、金壹百圓也  
五、金壹百圓也  
六、雜費 金壹百圓也  
七、義捐募集費 金壹百圓也  
合計金貳千參百圓也

# 早春に躍奮する人々

## 事業界實業界町政界等に

### 勇飛する人々の短評

城山眺觀生

昭和戊辰も一轉して茲に復つて收興しなければ、現窮海が破船の斷末を見たり己巳の年が回復した。さ實を費し得ない、此等間斷る、然るに次に列評する我れど社會の情勢は徒らに「なき生活上の悲喜劇發生の」が郷土の人物は孰れも人牛不景氣」てふ萬人響語に盡舞臺に佇ちて毒に吾人は系の優越者であり、生活の勝きて、爾後の時代は如何な類を糊口する爲の明日の政利者である。仍つて城山眺現象を見るかば想像する略を空極しなければ生き得 觀生は秃筆を弄して此等のに至難である。斯る明暗のられない。かゝる人生の深人物を詳記したが若し其の地平界に吾人は今や茫乎と海に漂泊して居る中に其の論の當否は我が二十萬の石して生活してをる。されど游航の方向を一朝間違ふと城民衆の自由な笑蔑に委すも人間須らく鬭争的獲得にに至れば、其處に奈落の

平町五丁目

### 諸橋元三郎氏

近代本縣内に大釜屋商店あ竟に天覽臺覽の光榮を荷ひることは既知なるが、然も次いで諸橋、草野氏と協力鳴呼日本全國の第一階級者其の一家に諸橋元三郎氏にして「福島縣政治史」を大成よ！我が磐城大釜屋の家名を知らざるものありや。した。是れ悉く氏が學究者氏の賢兄守次氏の當主は今とての一片を表し、亦一意に情へ！さすれば階級的茲に餘り論せず唯總弟元三方に大資本家の爲すべき模闘争が根絶して理論的資本民衆の先入意識する處俗にからず。従つて幾百の小作である。かくして國家社會金持と謂はゞ何等社會民衆人幾十の店員乃至第三階級は一家族主義の傘下に健に貢献するもの至つて冷酷の民衆に對するには慈惠の全なる文明が延展されるのであると思ふも。諸橋氏兄弟精神を以て接し些の金持振はなにか

平町二丁目

### 關内正一氏

兄弟の社會的聲望と奮出とを而して元三郎氏の如きは史學に最大の權威を有ち且史料蒐集家としては本縣第一一人者たり。猶又本縣の著書界に盡瘁し曩には主として「磐城史圖譜」を公刊して

も關内氏の如き人物を擧げ期に直面しなば、氏を以てなければなるまい。實に氏民衆は我が町政壇に歡呼しは學問に忠なる人、殊に政に送られたく望む。そして治經濟學に精通してをる人氏の抱懷無盡極まりなき政分けて郷土の町政に對し泉を奔出して、汚穢と混濁しては熱烈な意見を持す人との平政を淨洗して貰ひたいして民衆は是認してをる。乃ち氏に欲する處、此の覺故に當春櫻花萬葉の候も過悟と義氣を以て是非其の切ぎて方に初夏に入らんとす榮冠を擲得られんことを切時、突如！平町會の革新に願ふ

平町白銀町

### 河田梅吉氏

工業界不振の絶底が、約七の人格が崇高なるか察せ年間繼續して國家的不景氣られやう。又大なる敬神家襲來が何時代にまで及ぶとあり或は慈善家であるかのかは殆ど豫言出來ず、此は民衆の等しく首肯する所の間大小の事業家は宛も飢だ。そして又政治思想も大饑時の餓死者の如く列をないに有し社會の矛盾、内して弊息窮死する現況に於て閣施政の不信、乃至平町政平東街に建つ河田鐵工場に對して多大多望と不満をこゝ無限の事業を續け、其抱き而して論評することがの製作力は多大なもので獨度々である。故に白銀町は且東京青森間に支工場を設古來小區なりとも難活域に置してあるもの數箇所、之する所、若し河田氏の如く依つて見ても如何に氏の清濁相容れる大人物を町議經營法が絶大であることがに出馬されるのを大いに期證される。従つて氏は一面待する。さすれば白銀町に教育方面に就て最も信念あり高橋氏と相俟つて河田氏有つ人殊に社會に貢献するを輩出するに至れば當區否圖書等を購入して之を郷土平町政の大なる福趾たるをの學校乃至各方面に寄贈し得んやである。

平町南町

### 清野キヨ女史

福島縣下に於て非モダン型幸なる哉清野先生！平町女にして然と剛健實實、且博愛と義侠に富む女性と問は直ちに其れは石城の生んだ清野キヨ女史と即答すに憚らない、洵に女史の磐城の社會には醫者、辯護に如きは性格に於て單に他の士と藝者の多いことは各人女性より優越する乍りでな噂さであり又眞實である、其の容顏に於ても、今や一地方に以上の聯業者が數に四十に近づかんとするに於て多々住むといふ反面にははらざるに、一見女子大病人と事件と遊惰の夥しき學出身前後の才色兼美に等を證すことと又其れに當面しき麗姿を持してゐるのはする業者の多い中には勢ひ何たる精神と美貌との具へ無能不人格の醫者辯護士不天分であらう。而して近劣等な藝者の加味してをる格美の最なる點に於て萬平町に女子青年團の將にことは當然必然の至り。謂ひ出せんとしてをる時若しはなればならない。従つて其の團長を擔任するなれば、彼等三派業者は民衆より恐らく清野女史を措いて他常に上位にあるやうであり物色する女性なしと思ふ羨はれるやうでありて其

平町田町

### 市原卯太郎氏

市原病院長 市原卯太郎氏

### 募集

文藝其他投稿を募集します

二丁目大通

### 三井はきもの店

主 三井常松氏

補填して備へなければ切角も活動出來ないことであれ子青年團が萬一實現したな造化の神が人間に創造しては其の必要品に對しても品れば民衆士女の推薦ある場呉れた骨肉組織の足が立ち質の優良なるものと安價な台決して躊躇する勿れそは是れではいから兩脚がなければならぬ。此の時にすれば、磐城地方の額廢して生地を流しながら消滅し界の老舗とする三井ハキモンの處女の如き若さど勇氣てしまふ。其れ故原始時代ノ店に於て購求せば必ずやさど指導し訓化し而してはいざ知らず其の以後の時満足し得る種類を得られる誘惑に敗れ易き現代の墮落代から伶俐な人がハキモノ同店の主人は敢て誇大な夜した士女達をして軟弟なるといふものを作つて人々に告に依つて顧客に阿ねらず不良男子の上に勝利を擧げ用ひらせた。斯くしてハキ資性溫和且熱烈なる愛町のて呉れられんことを希望しモノの類も永年間に時代と士なれば來るべき陽春の平て己まぬ美夫！の更に健共に進化し現代に及びて約町會議員改選期には必ずや全を祝福する二百種の型が出来て居ると同店主の三井常松氏の推薦衆は先づ履物なくては一日

# 諸橋元三郎

平町白銀町  
實業家 高橋龜松氏

神に富み然も熾烈なる覇氣く民衆の熱望する所を敢て今より其の話題が進んで方一般民の周知する所、是す歴史地理學に興味を有して之を完成することがあるに燃えてをるの確かに以無駄とせず平市制將に實現る。願くは氏の如き快俠紳て青年政治家としての人格の狀に方先づ其の前に腐士の町政に進出されんこととして來た平町知名の士女男見あり氏の所藏する中には格であるから以上の一二例的試験には既にパスとしてを其の現町會を革新して呉れんとす。諸侍氏を想ふ時氏子既に數百人に達し然も治貴重な珍品。又付台に

一人者たり。猶又本縣の著々の論張を爲し而して其の爲の期人間には活動の先天的最大のに萬民は感謝しなければ其の團長を委任するなれば、彼等三派業者は民衆よりの反面的高風であり而して市原先生の天性であること

# 平町 諸橋元三郎

# 平町 關内正一

平町白銀町 實業家 高橋龜松氏

最近に於て本縣政界の大立然として最初の聲明と悉く物として超大な懐策を有し、反し、選挙者の期待を全然且自他共に認むる鈴木辰三裏切つて了ふ。然るに高橋

平町城山 香野利一氏

中市制將に實施されんとす費に對し滿場一致して可決の現代に於て先づ其の爲のされるのは、一に平町議員

平町二丁目 なかや洋服店

平町紺屋町 實業家 織田萬次郎氏

平町大工町 平青年副團長 多田井笑次郎氏

平町田町 鐵道請負業 猪狩菊三郎氏

神谷村 土木請負 荒川銀治氏

# 古市喜三郎 赤井村

平町大工町 平青年副團長 多田井笑次郎氏

平町田町 鐵道請負業 猪狩菊三郎氏

神谷村 土木請負 荒川銀治氏

古市喜三郎 赤井村

山田村 安島重三郎	植田町 大平千秋	赤井村(三國一) 渡邊酒釀造元	神谷村 木村茂作	佐藤齒科醫院 院長 佐藤武之	四倉町 植田三郎	湯本町 栗原靴店	湯本町 高岡自動車部
平町 山崎與三郎	赤井村長 根本忠松	平町 長瀬文造	平町 山崎合名會社	小名濱町 中村醫院 院長 中村三良	四倉町 吉田忠太郎	湯本町 西丸新聞店	小名濱町 二本松電氣株式會社 小名濱支店
錦村 金成通	赤井村助役 柴崎龜雄	磐崎村藤原 白石猶藏	東部電力平營業所	小名濱町 久保田醫院	同町 小漆宗吉	湯本町八仙 渡邊九郎兵衛	小名濱町 尾城寫真舖
植田町 磐城無盡商會	赤井村 我妻榮藏	磐崎村藤原 材木商 松本元次郎	平町 中村佐治助	小名濱町町會議員 小野德藏	同町 大和田安太郎	內鄉村 涌井保	平町 藤市かまほこ 製造元
小名濱町 小野晋平	好間村消防組頭 叶多清	平町 多田井笑次郎	平町 田邊忠藏	小名濱町 小名濱漁業組合 組合長 立花雄七	同町 菅波時計店	平町田町(請負業) 猪狩菊三郎	平町 坂田金物店
平町 中野甲藏	好間村 菅野源四郎	平町 磐城共濟病院	平町 河田鐵工所 河田梅吉	四倉町 優良セメント瓦製造元 渡邊熊藏	內鄉村 涌井恒昇	平町 加藤丈夫	平町四丁目 小野藥店
平町 瀧澤俊平	平町 桐原英純	平町 佐藤岩次郎	平町 平藝妓屋組合	四倉町 江口清	內鄉村 佐藤三平	平町 阿部唯次郎	山田村助役 秋山藏之助

小田炭礦鑛業所  
所長 萩原申八

入山採炭株式會社  
湯本鑛業所

磐城炭株式會社

古川鑛業株式會社

不動澤炭礦  
鑛務所  
鑛主 高階一郎

杉山炭礦  
鑛務所  
鑛主 杉山今朝吉

磐城立憲銀行

共稅郵價定日行發  
每月十五日一日  
部金月二十  
少分年一十  
一制一十  
引圓總  
行發  
郡城石縣島福  
平憲立城磐

師範學校長  
一、大正八年十二月北海  
道函館師範學校長  
右に見る如き明治三十四年  
以來は地方中等學校最高の  
師範學校長として先生は  
して先生は如何に教育法及  
び人格の偉大が先天的に  
有つてゐるかを窺はれるこ  
接訓陶を受けしもの既に二  
女子教育の資生動もす  
五、湯本町一人一圓以上  
志家より義捐を仰ぐもの  
を本校同窓會員及び特  
基金を二千三百圓とし之